

郷土資料の散歩道

図書館郷土資料室

〒21-6111 内線6201

分限帳

家臣団の名簿

禄高・役職・氏名等を記載

分限帳（「ぶんげんちよう」ともいいます。）とは、家臣の名前と・禄高（知行高）・役職・年齢等が記された帳簿で、家臣団の名簿あるいは給料表といふべき資料です。江戸時代、各藩で作成され侍帳・家中帳・知行帳と呼ばれ藩もありました。

市立米沢図書館及び米沢市上杉博物館では【表1】のようにに会津一二〇万石時代から明治に至るまでの三〇種類の



【図1】寛政九年分限帳 五千以上の家臣団が、上・中・下の3巻に記載される。中に見える御右筆（ごゆうひつ）は、字を書く役職です。

分限帳・知行帳を所蔵しています。

役職や各組ごとに

身分順に記載

米沢藩の分限帳は、江戸時代初期は、侍組や三手組といった上級家臣、知行地を与えられた家臣だけを記した分限帳でしたが、江戸中期頃からは「老人扶持三石」（老人扶持とは、普通は、一日米五合として一年で一石八斗の米が支給された。ただし、米沢藩の場合、年一石五斗六升が支給された。）といった扶持取の下級家臣、鉄砲足軽まで記載されるようにな

【表1】図書館・博物館所蔵の分限帳

資料名	西暦	所蔵
会津御在城分限帳 (慶長3年)	1598	図
直江支配分限帳 (慶長5年)	1600	博
寛永8年分限帳	1631	博
正保元年御扶持帳	1644	博
正保2年知行牒	1645	博
正保4年分限帳	1647	博
慶安元年分限帳	1648	博
慶安2年知行帳	1649	博
寛文3年分限帳	1663	博
寛文9年分限帳	1669	博
元禄3年分限帳	1690	図
享保9年分限帳	1724	博
御家中分限帳 (享保10年)	1725	博
延享2年分限帳	1745	博
安永2年分限帳	1773	博
御知行定(天明3)	1783	図
寛政5年分限帳	1793	図
寛政9年分限帳	1797	図・博
寛政10年分限帳	1798	博
享和3年分限帳	1803	図
文化6年分限帳	1809	博
文政4年分限帳	1821	図
文政11年分限帳	1828	図
天保3年分限帳	1832	図
天保12年分限帳	1841	図
嘉永2年分限帳	1849	図
慶応元年分限帳	1865	博
明治2年分限帳	1869	博

図:市立米沢図書館 博:米沢市上杉博物館



【図2】嘉永二年分限帳(上巻)の部分 高家衆には、武田・畠山・山本寺(さんぼんじ)・二本松の名が見える。

りました。幕末の慶応元年(一八六五)の分限帳では、女中や諸寺院を含め、五五四四件の記載があります。

記載の順番は、身分の高い組や役職から記されています。【図2】は、嘉永二年分限帳の出だしの部分で、分家上杉駿河守一萬石に続き、藩主上杉家

と親戚で身分の高い高家衆四名、政治を司る奉行(一般的には国家老)三名から始まっています。

先祖調べの基礎資料

こうした分限帳は、藩制史研究の基礎資料あるいは先祖調べの資料として活用されています。特に慶応元年分限帳は幕末であり『米沢市史編集資料第六号』に活字化されており、この分限帳で先祖の名前を確認できれば、その前の分限帳、さらに前の分限帳と先祖を遡ることが可能となります。本年、図書館では慶応元年分限帳の目録を整備し、検索しやすくなりました。

また、五千とも六千とも称された米沢藩家臣団の構成や階級、役職、年齢層までも見えてくる貴重な資料です。